

NEWS LETTER

vol.

3

2025年3月発行

発行者:

守山市総合政策部企画政策課

第4回市民ワークショップ

未来の守山に 向け乙の思いを まとめる



第4回市民ワークショップ 開催概要

テーマ

「未来の守山のあるべき姿を考える」

開催日・場所

2025年1月19日(日) 守山市役所防災会議室

参加者

市民17名、市民ファシリテーター10名、
龍谷大学 政策学部 只友教授
龍谷大学 学生ファシリテーター6名

9月からはじまった市民ワークショップも
いよいよ第4回で最後です。

今までのワークショップの結果をもとに、
事務局で基本方針のもとになる「5つの視
点」を設定しました。今回は「5つの視点」ご
とに、未来の守山のあるべき姿(目指す方
向)について意見交換を行い、守山が目指す
将来の姿をひとつの文章にまとめます。

5つの視点

ひと

まちづくりの主役である、市民一人一人の育ちや活躍、様々な人と人とのつながり方や地域の役割のあり方

くらし

市民の幸せな暮らしを支える、住まう、働く、育てる、食べる、憩うなど日常・非日常の生活各場面のあり方

まち

市民の生活とまちの活動の基盤となる、土地の使い方や拠点となる場所、地域間の移動のしくみなどのあり方

環境

まちの魅力を形づくり活動の源泉となる、自然環境や歴史文化など有形無形の地域資源のあり方

総合

4つの視点を超えてまちを全体的にとらえたもの

宿題の発表

第3回ワークショップ終了後、参加者には「それぞれが考える守山市の将来の姿」について、自宅で考えてくるようお願いしました。

最初に、各自、考えてきていただいた意見を発表し、それを5つの視点に分類します。

みんなの意見を聞いて分類が終わった後、本日話し合いたい視点を選びます。



未来の守山に向けての思いをまとめる

視点ごとに、どんなまちになってほしいか、テーブルワークで意見を出していきます。

共通する点、重要な点を見つけ、どんな未来にしたいかを絞り込み、キーワードとなる言葉をつなぎ合わせて、未来のあるべき姿を文章にします。



発表

テーブルごとに発表していきます。一文にした未来の守山のあるべき姿と、そこに込めた思いを全体で共有します。



Uとグループ

「お互い様」精神で育む みんなが主役になれる 故郷 守山!

くらしグループ

でこばこに合わせた町

まちグループ

安心安全で誰でも、気軽に使える
交通があるまち
どんな病気も気軽に相談できる (誰でも)
窓口が充実したまち

環境グループ

守山で(継)駿

総合1グループ

愛も自然も人も深にし続ける守山人
攻山守山50:50

総合2グループ

みんなでつくり、みんなが誇れる
持続可能なまち守山
～見える目標と達成度～

参加してひと



普段の生活の中でもう少しこうなったらいいなと思うことでも、誰かに任せきりにするのではなく、自分から積極的に声を発し、みんなで動いていていけないと思いました。



転勤族ですが、参加させていただいたことで、まちってこういう見方をするんだとか、こういう長所とか課題とかがあるんだっていうのがよくわかり、勉強になりました。

ワークショップの結果が活かされます!

市民意識調査やワークショップでいただいた市民のみなさんの意見は、今後「長期ビジョン」を検討していく中で、さまざまな部分で反映していく予定です。長期ビジョンの内容が固まる10月頃にパブリックコメントを実施し、市民のみなさんから最終的なご意見をいただく場を設けます。